

□ 主な内容

【パリ協定の国会承認を求める閣議決定】

10月11日(火)の閣議において、パリ協定の締結について国会の承認を求める件について、決定されました。

[http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/201610/11\\_a.html](http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/201610/11_a.html)

【第 33 回 EST 創発セミナー〔北海道〕の参加者募集中！】

12月19日(月)に第 33 回 EST 創発セミナー〔北海道〕を開催します。皆様からのご参加をお待ちしています。

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu47.html>

【エコドライブシンポジウムの参加者募集中！】

平成 28 年度エコドライブシンポジウムを 11 月 18 日(金) 13:30～16:10 に内幸町ホールで開催します。当日、エコドライブ活動コンクール表彰式も同シンポジウムのなかで行います。

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/prize/symposium.pdf>

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 123 回)

●「環境的に持続可能な交通と都市構造」

【名城大学 理工学部 准教授 鈴木 温】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 123 回)

●「ごみ焼却発電＋電気自動車＝CO2 排出ゼロを実現」

【函館市 環境部環境総務課温暖化対策担当 主査 池田 直樹】

3. ニュース／トピック

●気候変動に関するパリ協定の締結につき国会承認を求める閣議決定について【首相官邸】

●宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社申請の軌道運送高度化実施計画の認定について【国土交通省】

●燃料電池バス導入事業の補助金交付事業としての認定について【国土交通省】

●第 15 回「日本鉄道賞」の受賞者の決定について【国土交通省】

●第 12 回エコツーリズム大賞の募集について【環境省】

●「地球温暖化対策に関する世論調査」の結果について【環境省】

●千歳市の地域公共交通再編実施計画の認定について【北海道運輸局】

- 道北・道東地区における「ひと・もの協働プロジェクト」について【北海道運輸局】
- 環境広場さっぽろにて実施した「交通エコロジー教室」について【北海道運輸局】
- 平成 28 年度関東運輸局環境対策アクションプランの策定について【関東運輸局】
- 交通エコロジー教室の開催について【九州運輸局】
- お買い物は市バス・地下鉄で！キャンペーンについて【京都市交通局】
- 群馬県パーソナリティ調査速報版について【群馬県総合都市交通計画協議会】
- 超小型モビリティ実証実験プロジェクト「オカモビ」について【岡山市】
- 燃料電池自動車カーシェアリング実施について【周南市】
- 電気自動車とITを組み合わせたフィリピンでの新公共交通システム実証事業開始について【ソフトバンク株式会社】
- 交通分野における IoT サービスに利用可能なプラットフォームの開発について【株式会社 NTT ドコモ】
- 電気自動車の環境に優しい交通への寄与と課題の分析について【欧州環境庁】
- 温室効果ガス排出量に関するシナリオ改正版について【ドイツ連邦環境省】

#### 4. イベント情報

- 第 33 回 EST 創発セミナー〔北海道〕【2016/12/19】
- 地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2016in 九州【2016/10/26】
- 地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡【2016/10/27】
- エコカー体験&展示会 2016【2016/10/29,30】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016【2016/10/29,30】
- 2016 E-KIZUNA サミットプレミアム in さいたま【2016/11/1】
- 地域公共交通シンポジウム in 中部【2016/11/2】
- 省エネ促進フォーラム 2016in 福岡【2016/11/11】
- エコモビリティライフ県民の集い 2016【2016/11/14】
- 平成 28 年度エコドライブシンポジウム【2016/11/18】
- 地域公共交通活性化シンポジウム in 橋本【2016/11/18】
- 第 14 回 ITS シンポジウム 2016【2016/11/10,11】
- エコトレーニング in 千葉【2016/11/21】
- エコプロ 2016(第 18 回)【2016/12/8-10】

#### 5. その他

- EST パートナiership 会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

---

---

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 123 回)

●「環境的に持続可能な交通と都市構造」

【名城大学 理工学部 准教授 鈴木 温】

都市居住者の交通手段や移動距離が都市構造と密接に関係していることは以前から知られています。1989 年に Newman と Kenworthy によって出版された書籍<sup>1)</sup>の中に、有名な図があります。横軸に都市の人口密度、縦軸にガソリン消費量を取り、世界の主要都市のデータをプロットした図です。これが見事に反比例の関係、すなわち、人口密度が低い都市ではガソリン消費量が多く、人口密度が高い都市ではガソリン消費量が少ないことを示しています。その後、国内でも都市構造と交通に起因する環境負荷の関係が研究され、日本の都市でも同様の結果が得られています。つまり、コンパクトな都市は環境的に持続可能な交通を実現する可能性が高いということです。現在、我が国ではコンパクトシティ政策が積極的に進められていますが、これらの研究成果がコンパクトシティ化を推進する有力な根拠の一つになっているのです。

2014 年に都市再生特別措置法が改正され、コンパクトシティ化を進める制度である立地適正化計画が導入されました。現在、およそ 300 の自治体が立地適正化計画の作成について具体的な取り組みを行っています<sup>2)</sup>。我が国が目指しているコンパクトシティは、多極ネットワーク型コンパクトシティです。すなわち、商業施設、医療・福祉施設や住居等がまとまって立地することによって拠点を形成し、拠点間を結ぶ交通サービスを充実させることによって、拠点間の移動も確保しようとするものです。「コンパクトシティ+ネットワーク」とも呼ばれています。

私が住んでいる愛知県でも、名古屋駅周辺を中心部をはじめ、交通利便性の高いエリアの人口が増えてきており、コンパクトシティへの転換が実際に人々の立地選択傾向にも現れてきているようです。今後、コンパクトシティ政策が環境的にも人々の生活の質の観点からも持続可能な都市の実現に資するためには、私はコンパクトシティと一見逆行するように見える「機能の分散」が必要ではないかと考えています。現在、私の研究室では、モバイルデータを利用した人口統計データを用いて、愛知県の人口分布を分析していますが、平日も休日も日中は驚くほど名古屋の中心部に一極集中です。おまけに名古屋は人口密度が比較的高いにも関わらず、自動車の依存度が高く、中心部にも自動車で乗り入れる人も多いのです。このような状況を解消し、良好なコンパクトシティを実現するためには、日常的に必要な生活の機能は居住地から徒歩や自転車でアクセスできるような範囲に施設配置を促進し、通勤時間を短縮するような就業地の分散や交通ネットワークの充実が必要だと考えています。これが結果的に多極ネットワーク型コンパクトシティにつながっていくのではないのでしょうか。

参考文献)

- 1) Newman, P. W. G. and J. R. Kenworthy., Cities and Automobile Dependence: An International Sourcebook. Aldershot,UK: Gower. ,1989.
- 2) 国土交通省 HP  
([http://www.mlit.go.jp/toshi/city\\_plan/toshi\\_city\\_plan\\_fr\\_000051.html](http://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/toshi_city_plan_fr_000051.html))

---

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 123 回)

### ●「ごみ焼却発電+電気自動車=CO<sub>2</sub> 排出ゼロを実現」

【函館市 環境部環境総務課温暖化対策担当 主査 池田 直樹】

函館市では平成 25 年 9 月に電気自動車 1 台を導入し、地球温暖化対策の見える化というコンセプトのもと、走る広告塔として位置づけ活用してきました。

平成 27 年度の使用実績は、年間走行距離 11,534 km で、CO<sub>2</sub> 排出削減量は約 1.9t と試算しており、日常業務に積極的に使用することで当市の事務事業における CO<sub>2</sub> 排出量を確実に削減しています。

また、イベント等において電気自動車から電源供給するなど、新たな啓発ツールとしても活用することで、地域の CO<sub>2</sub> 排出削減にも貢献しています。

これまでの具体的な活用例としては、イベントでの地球温暖化防止啓発コーナーで、パソコンやディスプレイに電源供給したほか、綿あめやポップコーンの製造機、飲料の自動販売機への電源供給があります。

さらに、当市の公用車としては、唯一、広告を掲載しており、広告料収入による車両リース代の財源確保をしつつ、走る広告塔としての話題性も提供しており、とりわけ、毎年 8 月に行われ、観客数 7 万人と言われている函館港まつりでは、函館市環境部のパレード先導車として、多くの市民、観光客の目にふれさせることで、地球温暖化対策のシンボルとして活躍しています。

そして、当市の電気自動車の最大の特長は、発電のために新たな CO<sub>2</sub> が発生しない清掃工場のごみ焼却で発電したクリーンな電力を充電して走行するため、充電時も走行時も CO<sub>2</sub> 排出「ゼロ」を達成していることです。

車体には、「ごみ焼却発電+電気自動車=CO<sub>2</sub> 排出ゼロです」等の表示をラッピングすることで、一目で電気自動車であることや CO<sub>2</sub> 排出がゼロであることがわかるようになっています。

現在、当市の電気自動車導入は 1 台のみですが、ごみ焼却発電による充電や広告媒体としての活用、イベント等での電源供給など通常の走行時以外でも確実に CO<sub>2</sub> 排出量を削減できることから、電気自動車導入のモデルとして今後も積極的に活用したいと考えています。

---

### 3. ニュース／トピック

●気候変動に関するパリ協定の締結につき国会承認を求める閣議決定について【首相官邸】

日本政府は、10月11日(火)の閣議において、昨年12月に国連気候変動枠組条約第21回締約国会議において採択された気候変動に関する「パリ協定」の締結につき、国会承認を求める閣議決定を行いました。

[http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/201610/11\\_a.html](http://www.kantei.go.jp/jp/tyoukanpress/201610/11_a.html)

●宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社申請の軌道運送高度化実施計画の認定について【国土交通省】

国土交通省は、宇都宮市、芳賀町及び宇都宮ライトレール株式会社から申請がなされていた、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第9条第1項の規定に基づく、軌道運送高度化実施計画の認定事案について認定しました。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo03\\_hh\\_000074.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo03_hh_000074.html)

●燃料電池バス導入事業の補助金交付事業としての認定について【国土交通省】

国土交通省では、燃料電池バス・タクシー、電気バス・タクシー・トラック及び超小型モビリティの導入を重点的に支援している「地域交通グリーン化事業」において、東京都交通局で実施する事業用燃料電池バスの事業計画を日本で初めて認定し、本事業の支援対象とする案件に決定しました。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10\\_hh\\_000170.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000170.html)

●第15回「日本鉄道賞」の受賞者の決定について【国土交通省】

国土交通省では、鉄道に対する国民の理解と関心を深め、鉄道の一層の発展を期することを目的とする「日本鉄道賞」において、今年度の受賞者を決定しました。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02\\_hh\\_000073.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02_hh_000073.html)

●第12回エコツーリズム大賞の募集について【環境省】

環境省では、エコツーリズム推進法に基づき、エコツーリズムの普及、定着のための様々な取り組みを進めています。その一環として、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、「第12回エコツーリズム大賞」を募集しています。〔募集締切：11月25日(金)〕

<http://www.env.go.jp/press/103003.html>

●「地球温暖化対策に関する世論調査」の結果について【環境省】

環境省は、「地球温暖化対策に関する世論調査」の結果が公表されたことを発表しました。家庭や職場で行う地球温暖化対策については、COOLCHOICEの認知度、白熱電球

とLED照明の使用状況、電化製品等を選ぶ際の省エネ意識、エコドライブの取組みについて調査されました。

<http://www.env.go.jp/press/103022.html>

●千歳市の地域公共交通再編実施計画の認定について【北海道運輸局】

北海道運輸局では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく「千歳市地域公共交通再編実施計画」について、北海道内第一号となる認定を行いました。地域公共交通再編実施計画」とは、地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにする地域公共交通網形成計画」の内、バス路線網の編成の変更についてより具体的に定めたものです。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/presspdf/2809/280929.pdf>

●道北・道東地区における「ひと・もの協働プロジェクト」について【北海道運輸局】

北海道運輸局では、路線バスの空席スペースを活用し、地域における宅配貨物輸送等の物流サービスを効率化するシステムを構築することで、地域の公共交通サービスと物流サービスの維持・確保につなげることを目的とした、「ひと・もの」協働輸送プロジェクトの実証実験を行いました。

[http://www.estfukyu.jp/pdf/EST\\_mailmagazine\\_vol.123\\_1.pdf](http://www.estfukyu.jp/pdf/EST_mailmagazine_vol.123_1.pdf)

●環境広場さっぽろにて実施した「交通エコロジー教室」について【北海道運輸局】

北海道運輸局は、交通エコロジー教室の結果を報告しました。同教室では「地球温暖化と運輸」に関する講義とパネル展示を行い、30,029人が来場しました。

[http://www.estfukyu.jp/pdf/EST\\_mailmagazine\\_vol.123\\_2.pdf](http://www.estfukyu.jp/pdf/EST_mailmagazine_vol.123_2.pdf)

●平成28年度関東運輸局環境対策アクションプランの策定について【関東運輸局】

関東運輸局では、「地球温暖化対策・緩和策の推進」「自然共生社会の形成に向けた取組の推進」「循環型社会の形成に向けた取組の推進」「環境保全の行動変容施策等の継続的展開」の4つの柱を立てた関東運輸局環境対策アクションプランを策定しました。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1609/0926/pe\\_p160926.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1609/0926/pe_p160926.pdf)

●交通エコロジー教室の開催について【九州運輸局】

九州運輸局では、10月及び11月にて北九州市の小学校5・6年生を対象に電車、バス、車などの乗り物を通して地球温暖化対策を学び、公共交通機関の利用など自分たちでできることを学習してもらう事を目的として「交通エコロジー教室」を開催することを発表しました。教室では、環境性能に優れた燃料電池自動車・電気自動車を学校に持ち込み、説明と見学を併せて行います。

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20161007-buturyu.pdf>

●お買い物は市バス・地下鉄で！キャンペーンについて【京都市交通局】

京都市交通局では、大丸京都店にて市バス・地下鉄での御来店を促進し、店舗周辺道路における混雑緩和を図るため、同店でのお歳暮注文時に、市バス・地下鉄の対象乗車券を提示した方を対象に食品ラップなどのキッチングッズをプレゼントするキャンペーンを行うことを発表しました。実施期間は 11 月 1 日(火)～11 月 30 日(水)です。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000206725.html>

●群馬県パーソントリップ調査速報版について【群馬県総合都市交通計画協議会】

群馬県総合都市交通計画協議会では、平成 27 年度に実施したパーソントリップ調査の結果から明らかになった人の動きの概要を公表しました。調査から、100m 未満の移動でも 4 人に 1 人は自動車を利用し、500m を超えると半分以上の人が自動車を利用するとの結果が示されました。

<http://www.kendoseibi.pref.gunma.jp/section/toshikeikaku/gunma-pt/result.html>

●超小型モビリティ実証実験プロジェクト「オカモビ」について【岡山市】

岡山市では、環境にやさしく、地域内での手軽で新たな交通手段として期待されている 1 人乗り超小型モビリティによるシェアリング実証実験を行っています。実証期間は 12 月 22 日までです。

[http://www.city.okayama.jp/toshi/gairokoutsuu/gairokoutsuu\\_00193.html](http://www.city.okayama.jp/toshi/gairokoutsuu/gairokoutsuu_00193.html)

●燃料電池自動車カーシェアリング実施について【周南市】

周南市では、燃料電池自動車を実際に運転したり、乗車したりすることで、市民への水素利活用機器の普及と低炭素社会の実現に繋がることを目指し、カーシェアリング実証事業を行うことを発表しました。

[http://www.city.shunan.lg.jp/section/shoko/kigyuu/suiso\\_1/car\\_sharing.html](http://www.city.shunan.lg.jp/section/shoko/kigyuu/suiso_1/car_sharing.html)

●電気自動車と IT を組み合わせたフィリピンでの新公共交通システム実証事業開始について【ソフトバンク株式会社】

ソフトバンク株式会社は、フィリピン共和国マニラ市イントラムロス地区において、電気で走行する電気自動車と EV エコシステムを組み合わせた新公共交通システム「Mobility as a System」の導入、普及に向けた実証事業を 2016 年 10 月 20 日(木)から開始しました。

[http://www.softbank.jp/corp/group/sbm/news/press/2016/20161020\\_01/](http://www.softbank.jp/corp/group/sbm/news/press/2016/20161020_01/)

●交通分野における IoT サービスに利用可能なプラットフォームの開発について【株式会社 NTT ドコモ】

株式会社 NTT ドコモは、交通状況の見える化や更には AI 技術による将来予測など、今後の IoT 活用が高まると期待される交通分野において、三菱重工業株式会社、公立大学

法人公立はこだて未来大学、株式会社アットウェア、株式会社ドコモ・バイクシェアと連携して「デマンド乗合車両」「レンタサイクル」「公共交通」を活用した実証実験を行うことを発表しました。

[https://www.nttdocomo.co.jp/info/news\\_release/notice/2016/10/20\\_00.html](https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/notice/2016/10/20_00.html)

●電気自動車の環境に優しい交通への寄与と課題の分析について【欧州環境庁】

欧州環境庁では、電気自動車がEUの将来のエネルギーシステムと温室効果ガスおよび大気汚染物質の排出に及ぼす影響が分析されました。CO<sub>2</sub>に関しては、道路交通部門における排出削減は発電部門の排出増を上回り、EUの2050年におけるCO<sub>2</sub>の純減少量は2億5500万トンと予測されました。

<http://www.eea.europa.eu/highlights/electric-vehicles-will-help-the>

●温室効果ガス排出量に関するシナリオ改正版について【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省は、欧州委員会に対し、今後20年間のドイツ国内における温室効果ガス排出量に関するシナリオ改正版を提出したことを公表しました。これまで示していた2020年までの削減量が32%から35%であったのに対し、改正版のシナリオでは、新しい対策を考慮することにより、1990年比で37%から40.4%まで達成可能であることが示されました。

<http://www.bmub.bund.de/presse/pressemitteilungen/pm/artikel/bundesregierung-aktualisiert-klimaschutz-projektion/>

---

#### 4. イベント情報

● 第 33 回 EST 創発セミナー〔北海道〕

日時:2016 年 12 月 19 日(月)13:00~16:45

場所:アスティ 45ACU12 階「中研修室 1206」

主催:北海道運輸局、EST普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu47.html>

● 地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2016in 九州

日時:2016 年 10 月 26 日(水)13:00~17:30

場所:TKP ガーデンシティ博多新幹線口 5 階プレミアムホール

主催:九州運輸局

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20161004-kikaku.pdf>

● 地域公共交通活性化セミナー2016 in 福岡

日時:2016 年 10 月 27 日(木)9:30~12:20

場所:TKP ガーデンシティ博多新幹線口 5 階プレミアムホール

主催:九州運輸局

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20161004-kikaku.pdf>

● エコカー体験&展示会 2016

日時:2016 年 10 月 29 日(土)、30 日(日)

場所:千葉県立柏の葉公園

主催:柏市

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/020300/p037366.html>

● 暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016

日時:2016 年 10 月 29 日(土)、30 日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス

主催:暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

● 2016 E-KIZUNA サミットプレミアム in さいたま

日時:2016 年 11 月 1 日(火)13:00~17:00

場所:ホテルブリランテ武蔵野 2 階 エメラルド

主催:さいたま市

<http://www.city.saitama.jp/004/001/002/005/chuo/p050507.html>

- 地域公共交通シンポジウム in 中部
  - 日時:2016年11月2日(水)13:30~17:30
  - 場所:ウィルあいち 3階大会議室
  - 主催:中部運輸局
  - <https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kisya016/kousei20160930.pdf>
  
- 省エネ促進フォーラム 2016in 福岡
  - 日時:2016年11月11日(金)13:30~16:30
  - 場所:ハイアット・リージェンシー・福岡 リージェンシー II
  - 主催:九州運輸局
  - <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press-20161019-kankyoubuturyu.pdf>
  
- エコモビリティライフ県民の集い 2016
  - 日時:2016年11月14日(月)
  - 場所:ウィルあいち 3階大会議室
  - 主催:愛知県・あいちエコモビリティライフ推進協議会
  - <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/281114ecomobi.html>
  
- 平成 28 年度エコドライブシンポジウム
  - 日時:2016年11月18日(金)13:30~16:10
  - 場所:内幸町ホール
  - 主催:エコドライブ普及推進協議会、エコモ財団
  - <http://www.ecodrive-activity-concours.jp/prize/symposium.pdf>
  
- 地域公共交通活性化シンポジウム in 橋本
  - 日時:2016年11月18日(金)13:00~16:00
  - 場所:橋本商工会館 8階大ホール
  - 主催:近畿運輸局和歌山運輸支局、和歌山県
  - <http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/10pdf16-140.pdf>
  
- 第 14 回 ITS シンポジウム 2016
  - 日時:2016年11月10日(木)、11日(金)
  - 場所:北海道大学 クラーク会館
  - 主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、北海道大学
  - [http://www.its-jp.org/event/its\\_symposium/14th2016/](http://www.its-jp.org/event/its_symposium/14th2016/)

●エコトレーニング in 千葉

日時:2016年11月21日(月) 13:00~17:00

場所:船橋中央自動車学校

主催:一般社団法人日本自動車連盟

[http://jafevent.jp/event/1609\\_12\\_001\\_0.html](http://jafevent.jp/event/1609_12_001_0.html)

●エコプロ2016(第18回)

日時:(1日目)2016年12月8日(木)10:00~18:00

(2日目)2016年12月9日(金)10:00~18:00

(3日目)2016年12月10日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/>

---

## 5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！  
2013年7月16日から募集を開始し、37団体が参加しています。  
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。  
[http://www.estfukyu.jp/partnership\\_gaiyo.html](http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html)
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！  
<https://twitter.com/officeEST>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ  
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！  
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！  
配信申込はこちらから  
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)
- 記事募集中！  
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。  
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomor.jp](mailto:magazine@ecomor.jp) (担当: 熊井)

---

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局  
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>